

令和6年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会  
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

## 令和6年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	6
	福祉サービス利用援助事業及び決算額	14
	法人後見事業及び決算額	15
	共同募金配分金事業及び決算額	16
	社会福祉基金事業及び決算額	18
	資金貸付事業及び決算額	18
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	19
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	20
	外出支援サービス事業及び決算額	21
	配食サービス事業及び決算額	21
	居宅介護支援事業及び決算額	22
	老人福祉センター管理運営事業及び決算額	23
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	24
	生活支援体制整備事業及び決算額	26
	デマンド交通運営事業及び決算額	28
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	29
	その他の支援活動	30

## 令和6年度 事業報告

### 【総括概要】

制度の狭間と言われる複合的で顕在化しにくい課題を抱える相談者(世帯)に対しては、生活状況を把握し、生活福祉資金貸付や本会で行う小口の資金貸付だけではなく、重層的支援体制整備事業を実施している町総合サポートセンターや他機関による資源(生活保護申請等)の情報提供を通して生活再建ができるよう支援しました。また、食料の確保が困難な相談者に対しては食料支援を行ったほか、町民や企業からの食料品等の寄付、寄贈を受け、生活困窮者の方々への支援を行いました。今後も課題を抱える相談者やその世帯への包括的な支援を行いながら生活・福祉課題に対応するよう取り組んでまいります。

令和3年度策定した『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』においては、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会の開催や地域ふくし座談会(野木中学校区)、地域支え合い会議(新橋区、丸林西区)を開催し地域住民との情報交換の場を設けました。引き続き、各種事業の進捗状況の把握、計画の評価、見直し等における様々なご意見・情報をもとに次期計画策定に向けて準備を進めてまいります。

権利擁護事業については、高齢や障がいのある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、日常生活自立支援事業(あすてらす)の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービスの援助を行いました。また、成年後見制度について広く町民に周知するために、司法書士による成年後見に関する無料相談会や成年後見普及啓発講演会を実施しました。近年、日常生活自立支援事業の利用者が増加傾向であるため、今後も、権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関と連動した支援を推進してまいります。

近年の豪雨をはじめ、大規模災害の備えに向け、職員の人材育成・環境整備・連携協働の3つの視点から、年間を通して災害に備えた取組みを推進しました。また、災害支援のために設置される『災害ボランティアセンター』の効率的な運営を目指すために、既存のマニュアルや事業継続計画の見直し・改訂、さらには能登半島地震における被災地支援のため職員を派遣し、災害支援活動を行いました。今後も職員が災害発生時に迅速に行動し、速やかに対応ができるよう体制を整えていきます。

今後とも、誰もが役割を持ち、活躍できる『地域共生社会(ともに生きる豊かな地域社会)』の実現に向け、各関係機関と連携・協働しながら地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制を整備してまいります。

## ■法人運営事業及び決算額

【47,502千円[47,800千円]】

## 1 事業の概要

法人の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）と連絡調整を図り、適正な運営を図った。

また、社会福祉法改正により、組織経営におけるガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

## 2 主要な施策

### (1) 理事会、評議員会、監査会、評議員選任・解任委員会の実施

理事会、評議員会、監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

#### ①理事会の開催（業務執行の決定、理事の職務執行の監督他）

第1回理事会（令和6年5月31日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	令和5年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員の一部候補者の選定について
	第3号	野木町社会福祉協議会評議員の一部候補者の推薦について
	第4号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
	第5号	令和6年度第1回野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第6号	令和6年度野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について

第2回理事会（令和6年8月2日開催）		出席者：理事9名、監事2名
議案	第1号	野木町社会福祉協議会表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
	第2号	野木町社会福祉協議会評議員の一部候補者の推薦について
	第3号	令和6年度第2回野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況について
	第2号	ふくしのつどいのぎ2024の開催について

第3回理事会（令和7年3月19日開催）		出席者：理事9名、監事1名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	野木町社会福祉協議会副会長の選定について
	第2号	令和6年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第3号	令和7年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第4号	令和7年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第5号	令和6年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

### ②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会（令和6年6月17日開催）		出席者：評議員17名、監事1名
議案	第1号	令和5年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員の一部選任について

第2回評議員会（令和7年3月28日開催）		出席者：評議員16名
議案	第1号	令和6年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和7年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和7年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について

### ③監査会の開催（理事の職務執行の監査、業務及び財産状況に係る監査）

監査会（令和6年5月20日開催）		出席者：監事2名
内容	令和5年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

### ④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和6年6月17日開催）		出席者：委員4名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の一部選任について	

第2回評議員選任・解任委員会（令和6年8月5日開催）		出席者：委員3名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の一部選任について	

## (2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。  
町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
特別会員	26	28	36	31,000	31,500	40,000
普通会員	5,921	5,845	5,601	2,961,000	2,923,000	2,800,500
寄付	444	387	438	129,637	115,900	139,120
その他会員	2	1	1	2,150	1,000	1,000
賛助会員	41	27	16	210,000	140,000	95,000
合計	6,434	6,288	6,092	3,333,787	3,211,400	3,075,620

## (3) 広報活動

様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

### ①社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発刊

号数	発行日	記事内容
141号	4月25日	令和6年度事業計画・予算、みつけた！地域のつながり⑧、えんじゅクラブ通信（丸林西富士見会）、出張講座、おれんじカフェ、赤十字運動月間のお知らせ、老人福祉センター生きがい講座のお知らせ、スマホ教室の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
142号	6月27日	令和5年度事業報告・決算、えんじゅクラブ通信（友沼川西福寿会）、おれんじカフェ、みつけた！地域のつながり⑨、ふれあいサービスの協力会員募集、令和6年度野木町社会福祉ボランティア連絡協議会全体会・全体研修会の報告、小学生チャレンジスクール&ボランティアサマースクールの募集、エンディングノート「結び帳」の配布、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
143号	10月24日	令和6年度日本赤十字社会員募集実績報告、ふくしのつどいのぎ2024報告、小学生ボランティアスクール報告、ボランティアサマースクール報告、ひとりぐらし高齢者交流会の案内、ストックヤード募集、えんじゅクラブ通信、みつけた！地域のつながり⑩、おれんじカフェ、スマホ教室の案内、座談会（野木中学校区）の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
144号	1月23日	令和6年度野木町社会福祉協議会会員募集実績報告、令和6年度赤い羽根共同募金実績報告、貸付制度の案内、赤い羽根共同募金について、えんじゅクラブ通信、座談会（野木中学校区）の報告、みつけた！地域のつながり⑪、おれんじカフェ、シニア世代の社会参加・ボランティア養成講座の募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

## ②ホームページ…年間公開

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
アクセス件数 (件)	3,748	6,864	5,960

## ③SNS (X (旧 Twitter) …随時更新

### (4) 福祉サービスの運営適正

苦情解決に関する規程に基づき、本会が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、第三者委員や苦情受付担当者を配置した。

第三者委員構成	人権擁護委員 1・民生委員児童委員 1・学識経験者 1
苦情受付数	0 件

#### 苦情解決第三者委員打合せ会議

開催日	内 容	出席者数 (名)
6 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決委員会の概要について</li> <li>・栃木県等における苦情解決の状況について</li> <li>・令和 5 年度野木町社会福祉協議会の事業報告と苦情等の状況について</li> </ul>	2

### (5) 事務局活動

法人運営事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

## ■地域福祉活動事業及び決算額

【2,036 千円 [2,062 千円]】

## 1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を深めるとともにボランティア活動への参加や支援が円滑に行われるよう育成・援助を行った。

## 2 主要な施策

### (1) 第 2 期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

令和 3 年度策定した『第 2 期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき、行政と連携のもと計画を推進するため、地域ふくし座談会（野木中学校区）を開催するとともに、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と評価のため意見交換を行った。今後は、次期計画への見直し・改善等を行っていく。

#### ①野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内 容	参加者数 (名)
2 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要について</li> <li>・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取り組みについて</li> </ul>	8

## ②地域ふくし座談会（野木中学校区）

開催日	内容	参加者数(名)
12月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画について</li> <li>・地域サポート(支え手)体験ゲーム</li> <li>・ふくしの課題・問題点(困っているところなど)について意見交換</li> </ul>	22



### 地域サポート(支え手)体験ゲームとは

地域で生活する人のさまざまな課題(悩みや困りごと)とその課題を支援する過程で知っておきたい社会資源を知り、住民だけで解決するのではなく、関係機関や専門職などへのつながりや連携と協働のあり方を学ぶ。

## (2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時において、感染症拡大予防対策も含めた災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、災害ボランティアセンター運営の検討や資機材の整備など防災力の向上に努めた。また、能登半島地震における被災地域や被災者支援に対し、本会の職員を派遣し被災地の災害ボランティアセンター運営を支援した。今後も、職員が災害発生時に迅速に行動し、速やかに対応ができるよう防災意識を高めていく。

### ①被災地の災害ボランティアセンター運営支援

栃木県・市町社会福祉協議会における災害時支援に関する協定により職員を派遣

期間	内容
4月28日～5月4日 (本会職員1名)	石川県輪島市災害ボランティアセンターの運営支援業務 (被災地支援ボランティアコーディネート、要援護者の実態把握等)
6月15日～6月21日 (本会職員1名)	石川県輪島市災害ボランティアセンターの運営支援業務 (被災地支援ボランティアコーディネート、要援護者の実態把握等)

### ②野木町全町避難訓練（災害ボランティアセンター設置・運営訓練）

開催日	内容	参加者数(名)
10月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア派遣</li> <li>各避難所出入口口にて避難者の誘導等</li> </ul>	6



### ③野木町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル（R6.10改訂）

### ④野木町社協職員災害対応マニュアル（ハンドブック）（R6.10改訂）

### ⑤災害ボランティア活動ガイドブック（R6.11改訂）

- ⑥事業継続計画（災害時版及び感染症版）（R6. 11 改訂）
- ⑦災害ボランティアセンター運営に関する研修会（R7. 1. 21-22）への参加
- ⑧県境4市町社協の災害支援担当職員の定期的情報交換会の開催（年3回）
- ⑨StockYardのぎの周知

(3) 社会福祉等のボランティア活動支援

①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町ボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動が円滑に活動できるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数（件）			加入者数（名）		
	R4実績	R5実績	R6実績	R4実績	R5実績	R6実績
ボランティア活動保険	14	11	8	521	497	482
ボランティア行事用保険	11	14	13	1,220	1,541	1,940
福祉サービス総合補償	4	6	6	85	145	146
送迎サービス補償	1	1	1	8	8	8
合計	30	32	28	1,834	2,191	2,576

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数（件）	R4実績	R5実績	R6実績
		1	4

(整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	スピーチオ（活字文書読上装置）	点字ランプ・UNO
パソコン	デイジー（CD読み取り機）	音声電卓
点字板	高齢者疑似体験装着具	鈴入りサッカーボール
点字プリンター	まなび体（片マヒ疑似体験具）	車いす
MD/CDラジカセ	アイマスク・白杖（視覚障害体験具）	移動式段差解消用スロープ
録音機（テープ式）	体験用点字ブロック	プロジェクター・スクリーン
録音用（集積）マイク	視覚障害体験グラス	アンプスピーカー

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体（サークル）・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内容
4月13日	全体会・全体研修会
11月14日	V連委員視察研修会（国立障害者リハビリテーションセンター他）
定例会の開催（第2木曜日／年7回開催）	
各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員13名）され全体会・全体研修会、委員研修会等について意見交換を行った。	



### 全体研修会

演題：傾聴とは敬聴なり  
 ～傾聴とは素直に、謙虚に聴くこと！～  
 講師：栃木県傾聴ボランティア連絡協議会  
 会長 黒川 貢氏

### 社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年度3月31日現在）

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
団体数（団体）	11	11	11
個人ボランティア数（名）	53	48	50

### （ボランティア団体）

No.	名称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌他をCDに録音し、視覚障がい者等に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業への参加協力、施設での読み聞かせ活動
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への協力・研修等
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力
7	野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
8	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 のぎコスモス	
9	YOSAKOI 桜	
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動
11	のぎまちづくり ネットワーク	野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動

### （ボランティア団体以外の活動一覧）

No.	名称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」の配達に協力し、ひとり暮らし等高齢者宅に昼食のお弁当を届け、安否確認や交流を図る活動

2	事業協力活動 ハンディキャップ体験 学習支援活動	各種福祉関係事業への協力、町内小中学校やサマー スクールでのハンディキャップ体験指導活動
---	--------------------------------	---

・初心者向け手話講座

講師 小山市聴覚障害者協会

開催日	内 容	受講者数 (名)
11月 1日	自己紹介、指文字・数字、会話	2
11月 15日	趣味、住所、会話	2
11月 29日	講義 (聴覚障害者の生活)、復習、まとめ	2

・初心者向け朗読講座

講師 朗読の会「のぎく」

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月 9日	朗読のための呼吸法 発声・発音	3
10月 16日	声に出して読んでみよう	3
10月 23日	表現力をつけよう	3
10月 30日	表現力 ステップアップ	3
11月 13日	広報を読んでみよう	3

・初めての福祉教育ボランティア講座

講師 点友会「のぎ」・本会職員

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月 1日	みんなでつくる、助け合いの町 ～子どもたちに福祉を教える大切さ～	2
10月 8日	視覚障がい者への接し方	2
10月 22日	点字の書き方、読み方	2

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月 4日	研修Ⅰ「傾聴は敬聴なり」 演習Ⅰ「肯定感を味わう」 グループワーク	15
10月 18日	研修Ⅱ「傾聴のスキル」 演習Ⅱ「ロールプレイング1」	13
10月 25日	演習Ⅲ「ロールプレイング2」 演習Ⅳ「リフレーミング」	10
11月 1日	研修Ⅲ「バリデーション」 グループワーク	13
11月 15日	演習Ⅴ「アサーショントレーニング1」 演習Ⅵ「アサーショントレーニング2」	13

11月22日	研修Ⅳ「感性を磨く」 グループワーク	10
--------	-----------------------	----

### ③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

#### ・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	アルミ缶回収／古紙回収／緑の募金／ペットボトルキャップ回収／手話・点字の学習／ハンディキャップ体験／クリーン活動／ふれあい活動／伝承あそび／その他

#### ・福祉教育推進連絡会議の開催（年3回）

開催日	内 容	出席者数（名）
6月18日	・令和6年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	9
11月26日	・地域福祉新聞について	11
1月28日	講義「赤い羽根共同募金について」 講師 栃木県共同募金会 粕谷 亜紀氏 本会地域福祉係職員 ・地域福祉新聞（校正）について	10

#### ・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊（共同募金配分金事業）

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月19日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・福祉セミナー 「赤い羽根共同募金について～じぶんの町を良くするしくみ～」

#### ・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
4月24日	車いす体験学習支援（4年）	友沼小学校
6月3日	アイマスク体験学習支援（4年）	友沼小学校
6月7日	車いす体験学習支援（4年）	新橋小学校

6月12日	手話・点字体験学習支援（4年）	新橋小学校
7月9日	車いす・アイマスク・高齢者疑似体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
7月10日	車いす・アイマスク・高齢者疑似体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
9月7日	手話体験学習支援	野木第二中学校
9月17日	手話体験学習支援（4年）	友沼小学校
9月27日	点字体験学習支援（4年）	友沼小学校
10月18日	福祉について 手話体験学習支援（4年）	野木小学校
10月30日	点字体験学習支援（4年）	野木小学校
10月30日	人権集会 手話のおはなし	南赤塚小学校
11月5日	車いす体験・アイマスク体験学習支援（4年）	野木小学校
11月13日	ボッチャ体験	友沼小学校
11月27日	人権集会 親子と学び合い活動	佐川野小学校

### ・小学生ボランティアスクールの開催

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会  
 栃木県視聴覚障害者情報センター 佐藤 佳美氏  
 公益財団法人東日本盲導犬協会

開催日	内 容	受講者数（名）
7月23日	・福祉講座（手話・点字・朗読学習） ・ハンディキャップ体験 （車いす・アイマスク・片麻痺体験）	9
7月24日	・福祉のお話（視覚障がい者の方の生活について） ・施設見学（東日本盲導犬協会）	9
7月25日	・グループワーク（人にやさしい町とは？）	8



### ・ボランティアサマースクールの開催

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会  
 介護老人保健施設ひまわり荘、新橋児童館、社会福祉法人パステル

開催日	内 容	受講者数（名）
8月19日	・ハンディキャップ体験 （車いす・アイマスク・片麻痺体験） ・福祉講座（手話・点字・朗読学習）	6
8月20日	・施設交流活動（介護老人保健施設ひまわり荘）	6
8月21日	・施設交流活動（新橋児童館）	4
8月22日	・施設交流活動（社会福祉法人パステル）	4
8月23日	・ふりかえり	5



(4) 福祉機器（車いす）の短期貸出事業の実施

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	R4 実績	R5 実績	R6 実績
	58	70	81

(5) 地域（子ども）ふくし・思いやりプロジェクト

生活困窮者や子育て世帯に対し、町内各団体やボランティアの協力のもと食事や寄贈されたお米を提供し生活を支援した。

開催日	内容	来場者数（名）	場所
12月16日 ～25日	クリスマスプレゼント （日用品とお菓子を配布）	※25世帯	町老人福祉センター （ホープ館）
2月8日	カレーライス弁当配布	33	新橋児童館
		9	あかつか児童センター

※町内の関係機関と連携し、就学援助制度の対象者や生活に関する相談に来られた子育て世帯の方を対象



(6) フードドライブ事業の実施

生活困窮者に対し生活改善につながる相談支援や福祉サービスにつなげるため、家庭・企業で余った食品を回収し、町フードバンク等へ提供等を行うことによりその生活を支援した。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
受付件数（件）	30	30	60

(7) 緊急食料等給付事業の実施

低所得者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、生活に必要な食料等の現物を給付することにより、世帯の自立更生を促し、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう支援した。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
件数（件）	4	0	0

## (8) 一時お預かりサービス事業の実施

高齢・障がい等により一時的に金銭管理ができない方に対して金銭管理を行い、安心して生活ができるよう支援した。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
件数 (件)	1	4	5

## (9) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会 (えんじゅクラブ野木)	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を図った。
野木町社会福祉ボランティア 連絡協議会 (団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時高齢者生活支援講習など地域における奉仕活動の推進を図る活動を行った。

## (10) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
件数 (件)	3	0	1

### ■福祉サービス利用援助事業及び決算額

【1,290千円[1,243千円]】

## 1 事業の概要

高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

### 【実施したサービス内容】

福祉サービス利用援助：福祉サービスに関する情報提供や相談、利用の申し込み等

日常的な金銭管理サービス：日常生活上の生活費の管理、支払い代行、生活費のお届け等

書類等預かりサービス：預貯金通帳・印鑑、年金証書・保険証書等の預かり等

【専門員数】 登録者 2 名

【生活支援員数】 登録者 8 名 (実サービス提供担当者 3 名)

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
利用者実人数 (名)	16	20	22
定期支援件数 (件)	259	326	369
相談援助等件数 (件)	160	315	514
契約件数 (件)	5	8	6
解約件数 (件)	3	4	3

## 1 事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として後見業務を行える体制を整えた。

## 2 主要な施策

### (1) 法人後見運営委員会

成年後見人経験者等の専門家で構成する法人後見運営委員会を設置し、適正な後見事業を行える体制を整えた。また、司法書士による成年後見に関する個別相談会や成年後見普及啓発講演会を開催し、成年後見制度のPR活動をした。

#### ・法人後見受任状況

類 型	R4 実績	R5 実績	R6 実績
後 見	0	0	0
保 佐	0	0	0
補 助	0	0	0
合 計	0	0	0

#### ・類型終了件数

類 型	R4 実績	R5 実績	R6 実績
後 見	1	0	0
合 計	1	0	0

#### ・司法書士による成年後見に関する個別相談会

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
開所回数 (回)		1	2
相談件数 (件)		2	3

#### ・成年後見普及啓発講演会

開催日	内 容	参加者数 (名)
1月18日	「落語で楽しく学ぶ、成年後見制度と相続」 講師 生島 清身氏	57



## 1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

## 2 主要な施策

### (1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぼけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

#### ・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
9月7日	◎式典 (表彰者) ・援護功労 1名 ・ボランティア活動功労(個人) 1名 (感謝状) 6団体 ◎講演会 「共に成長しよう!親子の絆 ~ふれあう事の大切さ~」 講師 佐野 有美氏	343	野木町文化会館 (日東工業エニスホール)



#### ・地域福祉新聞…年1回(2月)発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月19日	友沼小学校	・チューリップの球根植え ・4年福祉体験 ・人権集会
	野木小学校	・福祉について ・手話体験・点字体験 ・アイマスク体験 ・車いす体験 ・こもれびの舎の訪問を通して

佐川野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学び教室・人権講話 「聞こえないってどんなこと」</li> </ul>
南赤塚小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権集会</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・総合的な学習の時間（高齢者疑似体験、車いす体験、アイマスク体験）</li> </ul>
新橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合「心のバリアフリー」 （車椅子体験、手話・点字体験）</li> <li>・新橋小学校のみんなに福祉を広げよう</li> </ul>
野木中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権集会</li> <li>・募金活動</li> <li>・アルミ缶・古紙回収</li> <li>・チューリップの球根植え</li> </ul>
野木第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビックアート</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・総合体験学習 手話講座</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話サークル「野和の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」</li> <li>・福祉セミナー 「赤い羽根共同募金について～じぶんの町を良くするしくみ～」</li> <li>・地域福祉新聞とは</li> </ul>

## (2) 高齢者の社会参加

町内在住75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会を開催し、当事者同士の交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
12月12日	町老人福祉センター (ホープ館)	39名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話 「わたしは絶対引っかからない 高齢者が騙されやすい詐欺について」 講師 栃木県消費生活センター 阿久澤 由紀子氏</li> <li>・音楽鑑賞 ヴァイオリン演奏 飯島 航氏・飯島 貴久子氏 フルートとピアノ演奏 アンサンブルぽぷり氏</li> </ul>



### (3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月24日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業 (芋ほり)	法得幼稚園児 老人クラブ会員 25名	川田地域
10月30日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 20名	野木幼稚園

### (4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

## ■社会福祉基金事業及び決算額

【604千円[561千円]】

### 1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

#### ・善意の寄付受入について（基金指定）

預託内容	R4実績	R5実績	R6実績
寄付件数（件）	8	8	8
寄付金額（円）	503,042	559,915	599,331

## ■資金貸付事業及び決算額

【116千円 [153千円]】

### 1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	R4実績	R5実績	R6実績
貸付件数（件）	41	21	21
償還件数（件）	26	35	10

資金の種類・貸付件数（件）	R4実績	R5実績	R6実績
生活一時資金	8	11	14

医療・介護一時資金	0	4	4
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	33	6	3
合 計	41	21	21

## ■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【5,888千円[6,616千円]】

### 1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に対する生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）は令和4年9月末に終了し、令和5年1月から償還が開始されたが、償還免除を行った方や償還免除に至らないが償還が困難な方等を対象に償還猶予などの相談支援体制を強化した。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
相談件数（件）	188	36	10

資金の種類・貸付件数（件）	R4 実績	R5 実績	R6 実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	1	1	0
福祉資金（緊急小口資金）	0	0	0
教育支援資金	0	1	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
緊急小口資金コロナ特例貸付	14		
総合支援資金コロナ特例貸付	10		
総合支援資金コロナ特例貸付（延長）	0		
総合支援資金コロナ特例貸付（再貸付）	0		
合 計	25	2	0

※生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）はR4.9末に終了

#### ・フォローアップ支援状況

件数（件）	R4 実績	R5 実績	R6 実績
電話（受電）		18	21
電話（架電）		66	113
訪問		4	51
来所による窓口対応		67	59
償還免除申請		3	1
償還猶予申請		7	0

その他のフォローアップ支援	・生活状況アンケート実施（年2回 5月・7月） 現在の生活や仕事状況を把握するとともに生活に困っている方に対しては寄付された乾麺やインスタント食品、お米の入った応援ボックスを配布した。
---------------	---

## ■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【7,691千円 [9,219千円]】

### 1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対する支援を行った。

### 2 主要な施策

#### (1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談内容	相談員
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	日頃の悩みなど 日常生活について	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員
法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	財産・扶養・土地・金 銭貸借・賠償・離婚な どの問題に関する相談	弁護士
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	ボランティア保険の加 入や社会福祉支援活動 に関する相談	社協職員
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	生活資金や日常金銭管 理に関する相談	社協職員
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談	地域包括支援センター職員

#### 【心配ごと相談】

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
開所回数（回）	12	12	12
相談件数（件）	1	1	3

#### 【法律相談】

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
開所回数（回）	12	12	12
相談件数（件）	44	47	48

## 【介護相談】

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
相談件数 (件)	285	342	247

### ・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員・あすてらす支援員合同研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月31日	研修 「おひとり様高齢者の終活」 ～安心して暮らしていくために～ 講師 OWL.Tochigi LLC 代表 松本 裕行氏	10

### (2) デジタル活用支援講習会（スマホ教室）の開催

スマートフォンの普及によりデジタル活用の不安となっている高齢者等を支援するため、教室を開催し、ITに対応した社会づくりを促進した。

開催日	内 容	参加者数(名)
6月6日	スマートフォンの基本操作を知ろう！ スマートフォンのボタン操作、画面の見方、文字入力（音声入力） 体験 QR（二次元バーコード）を読み取ってみよう！	15
6月12日		11
12月5日		13
12月12日		13
12月19日		16

## ■外出支援サービス事業及び決算額

【112千円[200千円]】

### 1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
利用者実人数 (名)	10	8	3
移送回数 (回)	66	49	17

## ■配食サービス事業及び決算額

【1,786千円 [1,583千円]】

### 1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により毎日の調理が困難な方に対し、お弁当の宅配（毎月4回 金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食協力者（ボランティア）人数】 39名

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
利用者実人数（名）	58	65	68
配食数（食）	2,162	2,014	2,313

■居宅介護支援事業及び決算額

【30,517千円 [29,379千円]】

## 1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要支援・要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、利用者・家族の抱えている複雑な課題等に対して適切な相談支援を行い、より良質なサービスが受けられるようケアマネジメントを実施した。

【介護支援専門員数】 5名

・居宅サービス計画（ケアプラン）作成

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
作成件数（件）	1,212	1,368	1,561

要介護度	R4 実績	R5 実績	R6 実績
要支援 1		154	151
要支援 2		143	184
要介護 1	433	437	588
要介護 2	307	306	295
要介護 3	181	137	106
要介護 4	221	142	187
要介護 5	70	49	50
合計（件）	1,212	1,368	1,561

・要介護認定調査

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
調査件数（件）	2	3	1

・事業所内研修・訓練（本会職員）

開催日	内 容	参加者数 (名)
10月15日	①野木町高齢者虐待対応について ・虐待の種類と発生リスクの事前理解 ・早期発見・事実確認と報告等の手順 講師：野木町健康福祉課 総合サポートセンター係 社会福祉士 溝部 貴之氏 ②介護現場における感染対策について ・感染対策の基礎知識について（講義） ・正しい手洗い方法について（実技） 講師：地域包括支援センター（保健師・看護師） ③事業継続計画（感染症版）の初動対応（BCP発動含）確認	23

■老人福祉センター管理運営事業及び決算額

【15,957千円 [15,306千円]】

## 1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

## 2 主要な施策

### (1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
開所日数（日）	338	337	332
利用者総数（名）	14,931	17,951	20,564

※老人福祉センター利用者数等別表による。（P 3 1 参照）

### (2) 生きがい講座の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康維持・増進と文化教養の向上を図るため各種講座を行った。

・生きがい講座（令和6年6月～12月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
やさしいヨガ講座	12	1	13	14

若さを保つ貯筋運動	22	5	16	21
初心者向けパソコン講座	12	3	3	6
ドライ・プリザーブドフラワー講座	7	0	10	10
合 計	53	9	42	51

(3) 第19回老人ペタンク大会・第44回老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月22日	ペタンク	85	丸林中央公園 グラウンド
9月25日	輪投げ グラウンドゴルフ 玉入れ	140	あじさい公園 グラウンド

■地域包括支援センター事業及び決算額

【66,914千円[64,000千円]】

## 1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

## 2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】 9名

社会福祉士	2名
保健師・看護師	3名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

### ①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	R4実績	R5実績	R6実績
総合相談	285	342	247
認知症相談	56	78	35
権利擁護相談	4	12	9
虐待相談	3	16	7
介護認定申請等	94	106	124

福祉用具住宅改修理由書作成	31	29	24
関係機関への連絡・調整等	4,255	4,075	4,154
緊急通報装置	22	18	19
見守りキーホルダー	6	16	10
その他	166	109	148
件数 (件)	4,922	4,801	4,777

※その他については、安否確認、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

## ②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行った。

## ③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

### ・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数 (名)
5月17日	講話「認知症疾患医療センターについて学ぶ」 講師 自治医科大学認知症疾患医療センター センター長 須田 史朗氏	21
8月22日	講話「難病対策について ～指定難病に関する手続きから医療費助成等～」 講師 栃木県 健康増進課 難病対策担当 小林 太一氏	20
11月19日	講話「心理分析を活用して トラブルのリスクマネジメントを知る」 講師 栃木県社会福祉士会 篠崎 文男氏	15
2月14日	講話「在宅医療・介護連携の4つの場面について」 講師 県南健康福祉センター 総務企画課 宮古 真奈美氏 野木町の高齢者の動向について 説明者 野木町健康福祉課高齢対策係職員 グループワーク	21

## ④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
作成件数 (件)	3,765	4,092	4,031

## ⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携し

ながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

## ⑥出張講座の開催、広報・啓発活動

高齢者等の安心した日常生活を維持できるよう、健康づくりや介護・介護予防に資する知識の普及・啓発を行うことを目的に、各種専門知識をもった職員等が地域内の団体やサロン等の集まりの場に出向き、講座を開催した。また、高齢者の方が大切な人へもしもの時に備えて、必要な情報をまとめたノート「結び帳」を希望の方に配布した。

講座名	実施延べ回数	受講延べ人数
「認知症」講話	2	19
あなたを守る制度～高齢者の権利擁護～	1	22
運動教室	17	318
「福祉用具」体験会	3	36
「終活」セミナー	2	26
「介護保険」の案内	1	9
合 計	26	430
ふれあいサロン（7か所）、老人クラブ（2か所）、その他（1か所）		

エンディングノート「結び帳」の無料配布 634冊

エンディングノート「結び帳」とは  
高齢者の皆さまが人生を振り返り、自身の情報や希望等を  
まとめ、残しておくもの。

(A4サイズ 全40ページ)



## ■生活支援体制整備事業及び決算額

【3,958千円[3,908千円]】

### 1 事業の概要

地域包括ケアシステムの構築に向け、介護保険の地域支援事業の実施にあたり、生活支援コーディネーターを中心に協議体の運営を行った。また、地域の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進した。

### 2 主要な施策

#### (1) 生活支援コーディネーター（第1層・第2層）の設置

地域のニーズ把握や地域のサービス主体との連携調整等のコーディネーター機能を担うため生活支援コーディネーターを2名配置した。

## (2) 協議体の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置した。

第1回野木町生活支援体制整備事業「第1層協議体」会議 (令和7年2月26日開催)		出席者数(名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度生活支援体制整備事業報告について</li> <li>①生活支援体制整備事業活動経過実績</li> <li>②重点活動の概要と実施状況</li> <li>・今後の活動ポイント</li> <li>・協議・情報交換</li> <li>・地域サポート（支え手）体験ゲーム</li> </ul>	12

## (3) 地域支え合い会議の開催

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、各地域の住民同士や関係団体が情報共有やアイデア出しを行うことで、地域の人々がつながり、活躍できるきっかけの場として支え合い会議を開催した。

開催日	内 容	参加者数(名)
10月2日 (新橋区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポート（支え手）体験ゲーム</li> <li>・生活支援体制整備事業及び地域包括ケアシステム概要</li> <li>・地域支え合い会議について</li> </ul> テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域であった「ちょっといい話（こと）」</li> <li>今、地域で行われている「支え合い活動」（地域活動）</li> </ul>	16
12月19日 (丸林西区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポート（支え手）体験ゲーム</li> <li>・生活支援体制整備事業及び地域包括ケアシステム概要</li> <li>・地域支え合い会議について</li> </ul> テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域であった「ちょっといい話（こと）」</li> <li>今、地域で行われている「支え合い活動」（地域活動）</li> </ul>	9

## (4) ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは対応できないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	R4実績	R5実績	R6実績
登録利用会員数（名）	63	76	93
登録協力会員数（名）	30	34	36
活動件数（件）	150	209	256

	R4実績	R5実績	R6実績
生活空間の掃除及び整理整頓	51	89	164
生活必需品等の買い物	17	27	21

話し相手	0	30	4
身の回りの世話	0	1	0
散歩、施設等への付き添い	14	9	0
家具、家電の移動	1	5	4
その他（ごみ捨て・調理等）	67	48	63
活動件数（件）	150	209	256

※令和4年6月よりサービス内容の見直し

## (5) 主な活動

研修会等への出席	県・県社協研修会や県境4市町社協担当職員の定期的情報交換会へ参加することにより、生活支援体制整備事業の運営や生活支援コーディネーターの役割と活動内容の情報収集を行った。
会議等への出席	地域における高齢者の生活支援体制整備を進めるために、関係する機関が実施する各種会議等に参加した。
地域活動への支援	高齢者を支える活動を行なう団体等の支援を行った。
高齢者への個別生活支援	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等で、福祉や介護サービス利用の対象にならないなどの課題について、各関係機関との連携を図りながら相談や支援を行った。
啓発活動	事業の周知・理解のための広報活動や説明会を開催した。

### ・地域支援活動の担い手育成講座の開催

地域において高齢者を支える担い手の発掘・育成のための講座を開催した。

開催日	内容	受講者数(名)
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポート（支え手）体験ゲーム</li> <li>・支え合い活動やボランティア活動例（町内の福祉ボランティア活動について）</li> <li>・住民参加型在宅福祉サービス（ふれあいサービス） 説明者 生活支援コーディネーター ふれあいサービス協力会員 下坂 マチ子氏</li> <li>・配食サービス 説明者 本会地域福祉係職員 配食ボランティア 市村 富美氏</li> <li>・その他のボランティア活動について</li> </ul>	18

## ■ デマンド交通運営事業及び決算額

【19,518千円[20,728千円]】

## 1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市）
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時30分（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無 料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く
備 考	○小学生単独乗車（R4.1月末から実施） 【利用条件】1. 必ず保護者から利用予約をすること 2. 保護者の責任において利用すること ○キラ輪号連絡ヘルプカードの利用（R4.2月末から実施） ※予約時など電話連絡が難しいと感じる方が携帯し、キラ輪号へ電話する際に周囲の人をお願いをするためのカード ○午後4時30分便増便（R4.10月から変更）

※デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P32参照）

## ■日本赤十字社活動と共同募金活動

### (1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

#### ・日赤会員増強運動の実施（5月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	R4実績	R5実績	R6実績	R4実績	R5実績	R6実績
会 員	11	7	15	22,000	14,000	31,000
協力会員 （寄 付）	6,550	6,386	6,206	3,152,618	3,086,847	3,007,955
合 計	6,561	6,393	6,221	3,174,618	3,100,847	3,038,955

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数 (件)	金額 (円)
能登半島地震災害義援金 (募金箱含む)	7	93,059
台湾東部沖地震救援金	1	5,000
能登半島大雨災害義援金	3	135,106

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

- ①赤い羽根共同募金運動の実施 (10月)
- ②災害等による被災地への義援金等の受付
- ③県共同募金会事業募金百貨店プロジェクトの援助

・赤い羽根共同募金運動実績 (運動月間10月)

募金種別	協力数			金額 (円)		
	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
戸別募金	6,492 世帯	6,236 世帯	5,977 世帯	2,561,985	2,487,473	2,381,400
街頭募金	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	20,368	36,230	29,697
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	12,084	9,604	14,237
法人募金	24社	21社	22社	126,840	109,952	150,218
設置募金箱	9ヶ所	9ヶ所	14ヶ所	7,467	6,031	17,407
個人募金		1件	3件		500	12,454
自販機募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	38,735	37,854	32,727
イベント募金			1件			11,400
募金百貨店プロジェクト			1件			14,340
利息				5	5	6
合計				2,767,484	2,687,649	2,663,886

■その他の支援活動 (リサイクル関連)

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援 (ワクチン還元)
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

令和6年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書(令和6年4月～令和7年3月)

	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)							1日平均 利用者数 (人)	利用団体数 (団体)
						町内者			町外者					
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数			
令和6年4月	29	1,718	1,691	27	3,000	9		3	18		12	59	179	
令和6年5月	27	1,698	1,650	48	3,600	29		23	19		11	63	178	
令和6年6月	30	1,845	1,788	57	3,300	23		17	34		27	62	188	
令和6年7月	30	1,656	1,605	51	2,300	9	17	22	27		22	55	178	
令和6年8月	27	1,238	1,193	45	2,700	18	3	15	24		19	46	139	
令和6年9月	27	1,660	1,586	74	1,400	12	38	46	24		22	61	169	
令和6年10月	27	1,914	1,840	74	1,600	35		30	39		37	71	191	
令和6年11月	25	1,732	1,666	66	1,400	9	7	12	50		48	69	170	
令和6年12月	28	1,833	1,704	129	900	21	65	83	43		42	65	176	
令和7年1月	27	1,680	1,642	38	2,000	10		6	28		24	62	152	
令和7年2月	25	1,706	1,670	36	4,060	23	5	5	8		6	68	153	
令和7年3月	30	1,884	1,794	90	500	38	44	81	8		7	63	183	
合計	332	20,564	19,829	735	26,760	236	179	343	322	0	277	62	2,056	

\* 上記有料利用者数の内訳には減免の為免除されている人数を含んでいません。

一野木町デマンド交通利用状況報告書

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～令和6年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	フレージン	町外	合計
登録者数	64	123	199	69	49	98	9	182	123	82	26	43	26	12	96	1,201
利用者数	106	217	328	105	82	138	25	312	188	129	42	83	47	14	179	1,995
合計	170	340	527	174	131	236	34	494	311	211	68	126	73	26	275	3,196
登録者数	29	83	125	40	31	53	6	109	76	34	20	23	13	7	7	656
利用者数	73	160	253	79	68	94	17	238	154	103	40	66	39	12	24	1,420
合計	102	243	378	119	99	147	23	347	230	137	60	89	52	19	31	2,076
利用率	45.3	67.5	62.8	58.0	63.3	54.1	66.7	59.9	61.8	41.5	76.9	53.5	50.0	58.3	54.6	54.6
	68.9	73.7	77.1	75.2	82.9	68.1	68.0	76.3	81.9	79.8	95.2	79.5	83.0	85.7	13.4	71.2
合計	60.0	71.5	71.7	68.4	75.6	62.3	67.6	70.2	74.0	64.9	88.2	70.6	71.2	73.1	11.3	65.0

運行日数	3,690
利用者数	133,271
平均/1日	36.1
登録者数	3,196

更新日:R7.3.4	(デマンド)
更新日:H30.3.30	(町)
登録者・死亡者数	668
登録者・転出者数	150
登録者・その他(登録抹消等)	12

登録世帯数	2,400
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(令和6年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
利用者数	900	926	870	931	734	832	996	853	856	784	697	802	10,181
平均/1日	42.9	44.1	43.5	42.3	43.2	43.8	45.3	42.7	42.8	41.3	38.7	40.1	42.6
登録者数	25	22	12	25	12	13	26	19	16	12	10	16	208
シルバーカー持込者数	47	27	34	38	31	38	36	32	37	25	19	36	400
免許返納者数	2	6	3	3	3	5	12	5	6	6	3	6	57
無料券利用者数(200円)	41	37	27	40	21	32	36	20	35	36	24	28	377
無料券利用者数(300円)	7	5	3	7	4	3	5	6	2	6	6	9	63
小学生単独乗車人数	6	9	6	11	10	11	14	11	14	14	10	14	116
ヘルプカード	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	6
利用世帯数	170												

